

各地方連盟御中

2023全日本綱引選手権大会
実行委員会

富山県追加参加について

立春を迎え皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から連盟に対しご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、先日開催されました、2023 全日本綱引選手権大会実行委員会において、1 チームの欠場申請が発生いたしましたので、その件について協議いたしました結果以下のチームの参加を承認いたしました。

富山県代表

魚津サッシ綱引クラブ

このことに関しましては、なぜ？という疑義が起こることと思いますので以下理由を説明いたします。

本来チーム参加申し込みは本年 1 月 6 日(金)締め切りで全国に周知連絡をしていたところでありました。また、その時点で地方予選会が未実施の場合は参加意志を連盟に申し出て頂き、参加チームが決定次第連絡を頂くことになっておりました(例年の通りの取り扱い)が今回の富山県の場合は、既に参加チームが決定しており、当該チームも各参加手続きを富山県連盟に申請済みでしたが、連盟への参加手続きを失念して居たとのことで、1 月 14 日(土)の組み合わせ抽選会終了後の後日になって連盟に申請されました。

実行委員会としましては、3 年ぶりの全日本綱引選手権大会の開催でもあり、組み合わせ抽選会前であれば事の次第によっては、受付等の検討(本来であれば、それも出来ないこと)も出来たと思いますが、抽選会の後でもあり再度、実行委員会を招集し抽選のやり直し等各方面への事務手続きをすることは難しく、期日を過ぎていること、他の地方連盟は期日を厳守してくれていること等総合的に判断しての結果でした。また、この事でいろいろと他方面からのご意見を頂いて居るところですし、SNS 等でも問題にされていることを実行委員会も承知していました。その後、出場予定チームの欠場が発生したため、当該チームに参加の意向を富山県連盟を通して打診したところ、快く参加を希望されたので今回の対応となりました。

今後、今回のような事象が発生してはなりません。同様の事象が発生しても今回と同じような対応を行うことはありません。どの大会も、事前準備のために、多くの時間と人を要します。気持ちよい大会運営の為には連盟と各地方連盟との強い連携が絶対に必要であると考えます。意見はあっても、協力し合わなければ良い大会はあり得ません。今回の件で、一部の方々が、不確かなことを SNS 等で問題視しているとの事が流れているようですが、その事によって「何か」が変わるということはありませんし、決して有ってはならないことです。一部地方連盟の活動にたいして(多くの地方連盟は精一杯の活動を行っています。)苦情や意見も連盟に直接入ってきています。各々が役割をしっかりと理解し、責任の所在を明確にして取り組んで行くことが大切だと思います。

今後も、日本連盟と各地方連盟はしっかりと連携強化し、綱引競技の発展と普及に邁進して行くことが大切だと思います。